

第6学年 外国語科学習指導案

指導者 齋藤 遼馬

ALT トッド・シマブクロ

1 単元名 Let's think about our food. ～食材を通じて世界との繋がりを考えよう～

2 単元について

○教材観

本単元は、NEW HORIZON Elementary English Course6 Unit6 “Let's think about our food.”の単元を基に児童の実態に合わせて構成したものである。児童の興味や関心に沿いながら英語表現に出会わせ、慣れ親しんだ英語表現を使って、自分の思いや考えを内容や構成などを工夫しながら、相手に分かりやすく伝えようとする能力の育成を目指し、単元構成を行った。本単元は、社会科や家庭科で学んだ学習内容と結びつけながら取り組むことができる単元でもある。既習の英語表現と他教科の学習を結びつけることで、単元のゴールの言語活動に意欲をもち取り組むことができる。活動を通して、既習表現を使って具体的に話して伝える方が、相手により詳しく伝わることを、児童自身が体験して気づき、それを表現する力をつけていく。そのためには、単元に含まれる Chant や Let's Try などを使い、それぞれの表現のインプットを確実に行っていく。また、児童が活動したり映像を見たりして、聞き手側も相手から聞き取った情報を整理しながら自分の考えを形成するとともに、リアクションや質問、感想を話していることに気づき、児童も同じように取り組んでいくことで、自ら考え判断し、主体的に表現する力を育てていきたい。

○児童観

児童は低学年の時には年間 10 時間程度の外国語活動を行っており、3年生で Let's Try 1 を、4年生では Let's Try 2 を年間各 35 時間学習してきている。5年生になって NEW HORIZON Elementary English Course5 を年間 70 時間行い、現在6年生では NEW HORIZON Elementary English Course 6 を年間 70 時間の外国語科として学んでいる。

本学級は、男子 13 名、女子 12 名の計 25 名である。5月に行った英語意識アンケートの結果では、外国語科に対する意欲は低く、全体的に否定的な回答をした児童が多い。英語（外国語科）の勉強を好きと答えた児童は「どちらかというと思う」を含めても 10 人しかおらず、学級での英語への興味・関心の低さがうかがえた。これは、授業で英語に慣れ親しんではいるが、定着に難しさを感じ、成果が児童の中に現れていないからだと考えられる。「英語の勉強は大切だと思いますか。」という質問に対しては「どちらかというと思う」を含めれば8割になる。このことから、大切だと肯定的に感じているが得意ではなく、「できない」「分からない」という考えをもつ児童が学級に多くいるとも言えるだろう。また、「振り返りカード等を書くことで、自分の学習を振り返ったり、次の学習で頑張りたいことを考えたりしていますか。」という質問に「どちらかというと思う」を含め、肯定的に答えた児童は8割であり、学習への意欲を感じる。一方で、「内容が難しくて分からない」という児童の声もあり、授業で扱う英語表現を全て理解しなければならないという捉え違いや児童の学習に対する不安も感じられた。授業の中で児童が安心して英語が使える場の設定を工夫し、「わかった」「できた」という達成感を持てる授業を目指したい。また、「聞くこと」「話すこと(やり取り)」の場面においては、活用できる既習表現の定着には個人差が見られ、様々な支援を必要とする児童が多い。他に

も、具体的な場面、状況に応じた聞き方や話し方が難しかったり、相手の答えを聞いて、自分の考えを明らかにしながら相手に返したりすることがうまくいかないと感じている児童もいる。そのため、やり取りの手段として実際に英語を活用する力の向上を目指して学習を進めてきている。本単元においても、「話すこと（やり取り）」に焦点を当て、友だちの意見を聞きながら、友だちの考えを理解したり、発表の内容を深めたりして、英語の学習で身に付けた力が学習や生活など様々な場面で活用できるようにしたい。児童は、Unit4 “Summer vacations in the world.”で過去に経験したことを伝え合う学習を行った。そこでは、行った場所や食べた物、感想等を内容や伝え方を工夫しながら伝える様子が見られた。また、Unit 5 “We all live on the Earth.”では、生き物のつながりについて考え、発表した。これらの Unit も活かしながら、児童が自分の思いや考えなどを目的に応じて伝えることができるように、何のための活動なのかを問いかけ、確認していく。さらに、今年は東京オリンピックが開催されたため、外国を知る良い機会に恵まれている時期である。外国に目を向ける機会を増やし、更に児童の英語学習への興味・関心を高めることができるようにしていきたい。

○指導観

本校では、研究主題を『すべての児童が「わかる・できる」を実感できる授業の創造～「指導と評価の一体化」を図るための学習評価を通して～』として研究を進めている。小立小学校では令和2年度より「英語教育改善プラン推進事業」の指定校となり研究を行ってきた。その中でも特に、「①外国語の授業づくり」「②学習評価」を意識して授業展開や活動内容を考えていくこととし、研究を進めている。

本単元における「①外国語の授業づくり」については、まずは教師が目標（単元のゴール）をしつかりと見据え、バックワードデザイン(逆向き設計)の考えのもと単元・授業づくりを行うことにより、児童自身に「何ができるようになるか」が感じられるようにしていく。今回の単元のゴールは、「話すこと（やり取り）」の領域となるため、単元の前半から児童とのやり取りを意識して指導していく。自分の考えを友だちの前で伝える活動は、日本語であっても苦手とする児童がいるため、英語であれば更に工夫のある活動や手立てが求められる。そのために、インプットとアウトプットを重視し、学習者の気づきを促すような授業構成をしていく。話し手の内容を理解し、やり取りを継続していけるように、教科書のリスニングの場面では、映像を見て何を話しているのかを思考しながら聞く場面を作りたい。そうすることで、他者とやり取りをする際、相手からの質問を受けて、自分の考えをどのように伝えればよいかを、考えながら話すことができるようになると思われる。思考を働かせる場面を、インプットとアウトプットのそれぞれの場面において設定することで、実際のやり取りにおいて、他者を意識して話したり、聞いたりすることができると思われる。また、必要に応じてジェスチャーをつけたり、話すスピードを調節したりして伝えるほうが相手により伝わることを、児童自身が体験して気づき、それを表現する力の育成につなげていく。

本単元における「②学習評価」については、いつ、そのような方法で、どのような基準で行うのかに重点を置いて取り組んでいく。コミュニケーション活動が主体となる外国語教育において、パフォーマンス評価は重要であるが、評価者によってずれが生じることや課題でもある。そのため、同じ基準で評価することができるように、CAN - DO リストからループリックを作成した。児童にとっても何を目指したら良いのかはつきりし、目的意識を高めることができると考える。また、振り返りシートを作成し、授業のポイントや次の時間に目指す目標を明確にしながら、授業を進めていく。

以上のことを継続しながら、中学校にむけて定着を目指したい。

3 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標(第6学年)

聞くこと	話すこと [やり取り]	書くこと
ゆっくりはつきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。	身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。	身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。

関係する領域別目標：聞くことウ、話すこと [やり取り] ウ、書くことイ

※「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

4 単元の目標

世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。例文を参考に、文を読んだり、書いたりすることができる。

5 言語材料

○表現 What did you eat for～? I ate～. I usually eat～. ～is from.... ～is in...group.

○語彙 食べ物 (rice など), 食事 (breakfast など), 食材 (pork など), 果物・野菜 (onions など)

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	○ (知識) [I ate～. I usually eat～. ～is from ～is in the...group.およびその関連語句など] について、理解している。 ○ (技能) 食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、聞き取る技能を身に付けている。	○世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話の概要を捉えている。	○世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話の概要を捉えようとしている。
話すこと [やり取り]	○ (知識) [I ate～. I usually eat～. ～is from ～is in the...group.およびその関連語句など] について、理解している。 ○ (技能) 食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、[I ate～. I usually eat～. ～is from ～is in the...group.およびその関連語句など] を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	○世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	○世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。

7 単元の指導と評価の計画(全8時間)

時	目標 (◆) 主な活動 (○) アクティビティ (・) 誌面化されている活動 (【 】)	評 価			
		知 技	思 判 表 表	態 度	
1	◆ 食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解する。 ○Greeting 【Let's Sing】 ・曲を聞いて歌えるところを歌う。 【Small Talk】				★本時では、目標に向けて指導は行うが、記録に残す評価は行わない。

	<ul style="list-style-type: none"> モデル会話をもとにペアで会話をする。 <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き、言えるところを言う。 <p>【Word Link】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「食べ物・食事」の単語を学習する。 <p>【Starting Out】</p> <ul style="list-style-type: none"> No.1～5の音声を聞いて、分かったこと、気づいたことをWSに記入する。 分かったこと、気づいたことを発表する。 <p>【Let's Read and Write①】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル文の音声を聞いて、声に出して読む。 P88の「わたしのせりふ」に「昨日食べたもの」を書く。 <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「音つなぎ⑥」で、始まりの音を聞き分けて単語を4線上に書く。 <p>○Greeting</p>				
2	<ul style="list-style-type: none"> ◆食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解する。 <p>○Greeting</p> <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル会話をもとにペアで会話をする。 <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気に歌う。 <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き、言えるところを言う。 <p>【Word Link】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「食材」の単語を学習する。 <p>【Let's Try①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 言われた教科書の単語を指す。 指導者の示す絵カードの単語を言う。 <p>【Starting Out】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前時に記入したWSの1を見ながら、No.1～5の音声や映像を視聴する。 No.1, 5の音声や映像を視聴させ、WSの2に答えを記入する。 答え合わせをする。 No.1の音声や映像をもう一度視聴する。 <p>【Let's Read and Write②】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル文の音声を聞いて、声に出して読む。 P88の「わたしのせりふ」に「ふだん食べているカレー」を書く。 <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「音つなぎ⑦」で、始まりの音を聞き分けて単語を4線上に書く。 <p>○Greeting</p>	聞			<p>◎（知識）[I ate～. I usually eat～. ～is from ～is in the...group.およびその関連語句など]について、理解している。 (行動観察・振り返りシート記述点検)</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ◆食べ物とその産地について伝え合う。 <p>○Greeting</p> <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> 元気に歌う。 <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル会話をもとにペアで会話をする。 <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツを聞き、言う。 <p>【Word Link】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「国」の単語を学習する。 <p>【Let's Listen①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 巻末絵カード（食べ物・食材）を用意する。 音声を聞いて、登場人物が食べたもののうち一枚の絵カードを置く。 答え合わせをする。 <p>【Let's Try②】</p> <ul style="list-style-type: none"> p56-57のチラシから作成したペア補完シートで産地をたずね合う。 <p>【Let's Read and Write③】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル文の音声を聞いて、声に出して読む。 p88の「わたしのせりふ」に「食材の産地」を書く。 	や	聞		<p>◎（知識）[I ate～. I usually eat～. ～is from ～is in the...group.およびその関連語句など]について、理解している。</p> <p>◎（技能）食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、[I ate～. I usually eat～. ～is from ～is in the...group.およびその関連語句など]を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 (行動観察・振り返りシート記述点検)</p> <p>◎世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話の概要を捉えている。 (行動観察・振り返りシート記述点検)</p>

	<p>【Sounds and Letters】 ・「音つなぎ⑧」で、始まりの音を聞き分けて単語を4線の上に書く。</p> <p>○Greeting</p>			
4	<p>◆食べ物がどの栄養素のグループに入るのかについて伝え合う。</p> <p>○Greeting</p> <p>【Let's Sing】 ・元気に歌う。</p> <p>【Small Talk】 ・モデル会話をもとにペアで会話をする。</p> <p>【Let's Chant】 ・産地の表現を確認しながら歌う。</p> <p>【Word Link】 ・「果物・野菜」の単語を学習する。</p> <p>【Let's Listen②】 ・巻末カードを使い、聞き取った単語のカードを書き写す。</p> <p>【Let's Try③】 ・ペア、もしくは3～4人のグループになる。 ・巻末絵カード（食べ物・食材）を用意する。 ・三つの栄養素のグループと紙面の内容を確認する。 ・音声を聞き、該当する絵カードを置く。 ・置いた絵カードの単語を4線の上に書く。 ・その他の絵カードを置き、発表する。 ・モデルをもとに栄養素のグループを伝え合う。</p> <p>【Let's Read and Write④】 ・モデル文の音声を聞いて、声に出して読む。 ・p88の「わたしのせりふ」に「食材の属するグループ」を書く。</p> <p>【Sounds and Letters】 ・「音つなぎ⑨」で、始まりの音を聞き分けて単語を4線の上に書く。</p> <p>○Greeting</p>	や		<p>◎世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。 (行動観察・振り返りシート記述点検)</p>
5	<p>◆「オリジナルカレー」を作って、やり取りをする。</p> <p>○Greeting</p> <p>【Let's Sing】 ・元気に歌う。</p> <p>【Let's Chant②】 ・産地の表現を定着させながら歌う。</p> <p>【Small Talk】 ・近くのレストランのメニューを使い、値段の表現を使ったやり取りをする。</p> <p>【Step1】 ・モデルとなるやり取りを提示する。 ・教科書の文を読む。 ・「わたしのせりふ」を読んで、ペアで伝え合う。 ・友達の「わたしのせりふ」を読む。</p> <p>【カレー考案】 ・ペアで具を3食品群の表に入れて考える。 ・カレーの名前と値段を決める。 ・「わたしのせりふ」を参照しながら、「オリジナルカレーメモ」を作成する。 ・「オリジナルカレーメモ」を見せながらペアで練習する。</p> <p>【Sounds and Letters】 ・「音つなぎ⑩」で、始まりの音を聞き分けて単語を4線の上に書く。</p> <p>○Greeting</p>	や		<p>◎世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの情報や考えなどを話している。 (行動観察・振り返りシート記述点検)</p>
6	<p>◆「オリジナルカレー」を作ってやり取りをする。</p> <p>【Let's Sing】 ・元気に歌う。</p> <p>【Let's Chant】 ・基本表現の定着を目指して歌う。</p> <p>【Step1】 ・ゴールとなるやり取りのルーブリックを確認する。 ・教科書の文を読む。 ・「わたしのせりふ」を読んで、ペアで伝え合う。</p>	や		<p>◎外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、地産地消カレーについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。 (行動観察・振り返りシート記述点検)</p>

	<p>【カレー考案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしのせりふ」を参照しながら、「オリジナルカレーメモ」を作成する。 ・食材の英語名と産地について調べ言えるようにする。 ・「オリジナルカレーメモ」を見せながらペアで練習する。 <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Quiz⑩」で、始まりの音を聞き分けて単語を4線の上に書く。 <p>○Greeting</p>				
7 本 時	<p>◆「オリジナルカレー」を使ってやり取りをする。</p> <p>○Greeting</p> <p>【Small Talk】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル会話をもとにペアで会話をする。 <p>【やり取りの確認】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなやり取りだと相手により伝えられるか確認する。 ・ペアで最終確認する。 <p>【Step 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショップと客のグループに分かれてやり取りを行う。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の取り組みとやり取りの実施について振り返る。 <p>○Greeting</p>	や	や	や	<p>◎（知識）[～is from ～is in the...group.およびその関連語句など]について、理解している。</p> <p>◎（技能）食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、[～is from ～is in the...group.およびその関連語句など]を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。 〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p> <p>◎世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。 〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p> <p>◎世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p>
8	<p>◆日本と世界の食糧事情について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。</p> <p>○Greeting</p> <p>【Let's Sing】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気に歌う。 <p>【Let's Chant】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンツを言う。 <p>【Do you know?】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな食材ごとの日本の食料自給率などについて予想したり、調べたりして答えを空欄に書く。 ・答え合わせをし、意見を発表する。 ・クイズの答えを予測し、番号に○をつける。 ・答え合わせをする。世界の食料事情についても考え、発表する。 <p>【Challenge】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消カレーを考え、友達と紹介し合う。 <p>【ことば探検】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の熟語を見て、英語で何というかを推測して4線以上に記入する。 ・答え合わせをする。 ・気付いたことを右の空欄に書き、発表する。 <p>【世界のすてき】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイスについての映像や音声を視聴し、分かったことなどを紙面に書く。 ・映像や音声から、分かったことを発表させる。 ・そのほか、スイスについて知っていることを発表する。 <p>【Sounds and Letters】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Quiz⑪⑫の音声を聞いて、絵と文字を線で結ぶ。 <p>○Greeting</p>			聞	<p>◎世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、短い話の概要を捉えようとしている。 〈行動観察・振り返りシート記述点検〉</p>

5	○振り返りシートを記入する。 ・発表の取り組みとやり取りの実施について振り返る。 ○Greeting	・ねらいに照らして児童を称賛する。 ・全体に挨拶をする。	
---	--	---------------------------------	--

H:HRT A:ALT J:JET S:児童

(5) 評価

○評価規準

- ・食材を通じた世界とのつながりや食べ物の栄養素などについて伝え合っている。(知識・技能)
- ・世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。(思考・判断・表現)
- ・世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

○評価の具体(ルーブリック)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ポ イ ン ト	The () are in the () group. Where are the () from? The() are from Australia.	Do you like~? I like~. Why? It's delicious. など、流れに適したやり取りの表現	・堂々とした態度 ・相手の様子に応じて十分伝わる声量 ・聞き手が理解しやすいスピード ・アイコンタクトやうなずき ・自然なジェスチャー
A	全体的に十分に伝わる発音で、言い間違いやつかえがほぼない程度にやり取りをしている。	オリジナルカレーについて友だちに伝えるために詳しく答えたり、オリジナルカレーについてよく知るために質問したりしている。また、内容にあったリアクションをしている。	自分のことを相手に伝えるために、相手のことを十分考えて話したり、聞いたりして、伝え合おうとしている。
B	全体的に伝わる発音で、言い間違いやつかえが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度にやり取りをしている。	オリジナルカレーについて友だちや先生に伝えるために答えたり、オリジナルカレーについてよく知るために質問したりしている。リアクションをしている。	自分のことを相手に伝えるために、相手のことを考えて話したり、聞いたりして、伝え合おうとしている。
C	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。	「B」を満たしていない。